

- パトリック・デウィット / 茂木健訳 『**シスターズ・ブラザーズ**』 【5月刊行】  
ゴールドラッシュの頃、依頼されたからとりあえず人を殺しにサンフランシスコへ行く、卑怯で狡くて格好良くない殺し屋シスターズ兄弟の物語。英米の読書界に一大旋風をまきおこしたブッカー賞候補作。
- レスリー・メイヤー / 高田恵子訳 『**九十歳の誕生パーティ**』《主婦探偵ルーシー》 【5月刊行】  
元司書ミス・ティリーの誕生パーティを前に殺人が！ 主婦探偵ルーシー、友人のために事件を追う。
- ネレ・ノイハウス / 酒寄進一訳 『**白雪姫には死んでもらう**』 【5月刊行】  
小さな村社会の閉塞感、正義という名の暴力、親友の裏切り。10年前の連続少女殺人事件を通して、人間のおぞましさと魅力を描ききる。『**深い疵**』に続く衝撃のオリバー＆ピア第2弾！
- カーリン・イエハルドセン / 木村由利子訳 『**お菓子の家**』 【6月刊行】  
いじめられっこが残した過去の日記。過去のいじめと現在の事件がリンクする、スウェーデンで人気の警察小説シリーズ。
- ヴォルフラム・フライシュハウアー / 北川和代訳 『**消滅した国の刑事**』 【6月刊行】  
山羊の頭がつけられた異様な死体。旧東独出身の老刑事がさまざまな苦悩と葛藤を抱えつつ、二転三転する難事件に挑む。実力派ミステリ作家が突きつけるトリッキーな展開と驚愕の真相とは？
- スーザン・イーリア・マクニール / 坏香織訳 『**チャーチル閣下の秘書**』(仮) 【6月刊行】  
首相官邸で首相チャーチルの秘書として勤務することになった、アメリカ育ちのマギー・ホープ。得意の数学の才を生かし、体当たりで首相官邸を襲う陰謀に挑む、魅力のシリーズ開幕編。
- エリック・M・キース / 森沢くみ子訳 『**ムーンズエンド荘の殺人**』 【6月刊行】  
雪に閉ざされた山荘で、一人またひとりと殺されていく人々……。雪の山荘版『そして誰もいなくなった』！
- R・D・ウィングフィールド / 芹澤恵訳 『**冬のフロスト**』上下 【6月刊行】  
史上最大の分量で贈る、フロスト警部シリーズ第5弾！ 怒濤の事件とお下劣ジョークをお楽しみに。
- ポール・ギャリコ / 山田蘭訳 『**シャボン玉ピストル大騒動**』 【6月刊行】  
発明家を夢見て家出した少年ジュリアンが乗り込んだバスにはベトナム帰還兵、機密を携えた米国軍人にKGBのスパイ、犯罪者まで乗り合わせていた！ 夢溢れるロードノベルの名品。
- アーナルデュル・インドリダソン / 柳沢由実子訳 『**緑衣の女**』  
レイキャヴィーク郊外のビル建設現場で白骨死体が発見された。いったい誰で、なぜ死んだのか。エレンドゥル刑事の捜査は、平和に暮らす家族の秘密を暴くことに……。
- ケイト・モートン / 青木純子訳 『**秘密**』(仮)  
第3回翻訳ミステリー大賞受賞作『忘れられた花園』のモートンによる傑作。正当防衛とはいえ、少女時代に母の殺人を目撃していた女優が、母の過去を探り始めた。時代をまたぐ大いなる謎と人間ドラマ！
- S・J・ボルトン / 法村里絵訳 **Blood Harvest**  
教会の白骨、何者かを目撃する子供たち。収穫祭の季節に、血塗られた町の秘密が暴かれる。『**三つの秘文字**』『**毒の目覚め**』に続く戦慄のゴシック・ミステリ！
- アリアナ・フランクリン / 吉澤康子訳 『**アーサー王の墓所の夢**』(仮)  
大火で焼失した教会の墓地から出土したアーサー王とその妃と見られる骨をめぐり、国王ヘンリー二世の

命を受けた女医アデリア第三の冒険と推理が始まる。CWA最優秀歴史ミステリ賞シリーズ最新刊。

モンス・カレントフト/久山葉子訳 『灼熱の夏に死す』

記録的な暑さの夏、激しい暴行を受けた少女が発見される。モーリーンが捜査に乗り出す、少女には事件の記憶がなかった。同じ年頃の娘をもつモーリーンは、怒りに燃えるが.....。

フレッド・ヴァルガス/田中千春訳 『汚れた手』(仮)《アダムスベルグシリーズ》

フランス・ミステリ界の女王フレッド・ヴァルガスのCWA受賞作。30年前のポセイドンと呼ばれる殺人鬼がよみがえったのか？ シムノン風の軽みとレンデル流のサイコサスペンシブのひねりが見事！

ピーター・ロビンソン 『毒殺』(仮)

ヨークシャーの古い屋敷に暮らし始めた音楽家が、その屋敷で、60年前に美しい女性グレースが夫である医師を毒殺し縛り首になったことを知る。本当にグレースは夫を殺したのか？ アーサー・エリス賞(ベスト・クライム・ノヴェル)、ディリス賞(ベスト・ノヴェル)受賞の傑作。

リンゼイ・フェイ The Gods of Gotham

1845年、ニューヨーク市警創立初の刑事となったティモシーは、ある少女との出会いにより、子供ばかりを狙った連続殺人事件に巻き込まれる。超大型新人が放つ感動の一大巨編！

ローナ・パレット 『本屋だらけの殺人』(仮)

破綻寸前だった小さな町が、古書店で復活。ミステリ専門書店の店主トリシアは、仲間の料理書専門古書店の店主が殺されたことで事件にまきこまれる。往年の名作ミステリや古書の小ネタが随所に顔を出す、くすぐりも十分なライト・ミステリ。

ヴィクトル・アルナル・インゴルフソン The Flatey Enigma

1960年6月のアイスランド、フラティ島という古い伝承(サガ)を書いた羊皮紙が保管されている図書館がある島を舞台にしたミステリ。

シャルロッテ・リンク 『沈黙の終焉』

ヨークシャーの館を相続した夫婦が友人たちとそこで休暇を過ごすうちに凄惨な殺人が.....。閉塞感のある別荘の異様なまでの緊張が、読者を複雑な人間ドラマに引き込む。ドイツの国民的作家の傑作ミステリ。

ライナー・レフラー 『血塗られた夏』

事件分析官と連続殺人犯、それぞれの心の痛みが、事件を単なる猟奇的連続殺人に終わらせない。人間の暗部をとことんえぐったドイツミステリの怖るべき傑作。

アレックス・グreshian 『刑事たちの三日間』

ヴィクトリア朝ロンドン。数千の犯罪を捜査するためスコットランド・ヤードに誕生した殺人課 所属する刑事はわずか十二人。彼らの緊迫の三日間を描くヴィクトリア朝警察小説。

キャロル・ネルソン・ダグラス/日暮雅通訳 Good Morning, Irene! 《アイリーン・アドラーの冒険》

フォルカー・クッチャー/酒寄進一訳 『物言わぬ死者』(仮)《ベルリン警視庁ラート警部シリーズ》

ジム・ケリー/玉木亨訳 The Moon Tunnel 《ドライデンシリーズ》

S・J・ローザン/直良和美訳 『S・J・ローザン短編集2』(仮)

キャロル・オコンネル/務台夏子訳 The July Must Die 《キャシー・マロリーシリーズ》

ピーター・トレメイン/甲斐萬里江訳 『鬮深き谷』《修道女フィデルマシリーズ》

イモジェン・ロバートソン/茂木健訳 Anatomy of Murder 英国式犯罪解剖学

...and more!